

令和3年度第9回安城市地域ケア推進会議

日時 令和4年3月17日（木）
午後1時30分～午後2時50分
場所 社会福社会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

今年度の会議は中止やリモートなどで不自由な状況だったが本日は最後の会議なので対面で。感染予防対策としてCO₂モニターを持参したので、高値となったら換気を。

2 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進のための研修会報告（資料1）

・リハビリネット部会

リハビリネット部会)

(資料の通り報告)

【意見】

会長)

グループワークを取り入れた研修を上手に運営していた。リハビリと終末期は一つの大きなテーマとなるので来年度も引き続きよろしくお願ひします。

・ACPマニュアル研修会

ACP作業部会)

(資料の通り報告)

3月末で作業部会は一旦終了するが、これからの普及啓発、冊子の更新等は必要に応じて部会で検討していく。また、エンドオブライフケア研修会のサポートも携わっていく。

【意見】

会長)

多くの方が研修会に参加された。作業部会も引き続きよろしくお願ひします。

(2) 令和4年度の研修会予定について（資料2）

事務局)

在宅医療・介護連携推進のための研修会傾向について

(資料について説明)

<R2年度>

コロナ感染症のため、軒並み中止

・ 6回／17企画 開催35% 延べ431人参加

<R3年度>

- ・ コロナ感染症が継続している中、ZOOM配信の研修会增加。
- ・ 9回／14企画 開催64% 延べ570人参加
- ・ 開催した研修会の9割がZOOM使用の研修会

研修会の開催にご協力ありがとうございました。今年度は皆様のご協力により、昨年度に比べてオンライン開催が増えた。安城市は顔の見える関係づくりを大切に取り組んでいるが、今後もコロナ感染状況が続くことが予想されている。本日のように集合型が一番ではあるが、そのことにこだわると学ぶ機会がなくなるだけでなく、多職種連携が衰退することになりかねない。企画が中止にならないようオンライン開催も検討をお願いしたい。開催が難しい場合は事務局にご相談を。研修企画は多職種連携として、複数の部会との共催も可能。来年度もご協力をお願いします。

【質問】

(なし)

(3) 各部会での検討報告並びに令和4年度検討テーマについて (資料3)

【報告】

病院部会・歯科医師会部会・薬剤師会部会)

(資料の通り報告)

【質疑応答】

会長)

医療用麻薬を患者さんが希望されたが、週末のため渡せなかったとの報告があったが、その方は麻薬の処方箋を継続していた人か、新規の人か。

薬剤師会部会)

継続の人。レスキューの処方箋だったため薬局に持ち合わせがなかった。

会長)

処方箋を出す側の問題なので予測できるはず。前もって在庫量と使用料を把握すれば準備できることなので連携を。コロナの治療薬も安城市内では6カ所の薬局の薬剤師が在宅療養者に届けて健康観察も実施しており、薬剤師の方の活躍がコロナ療養者の助けになっている。

【報告】

訪問看護ネットワーク部会・リハビリネット部会)

(資料の通り報告)

【質疑応答・意見】

会長)

訪問看護ネットワーク部会の方には医療廃棄物と災害に関することを形にさせていただいた。

リハビリネット部会の方には最先端の e-スポーツによる介護予防を取り入れていただく
とのこと。どのようなことをするのか。

リハビリネット部会)

ケンサチ e フェスなどに参加しながら、対面も必要だが今の時代に合わせた新しい関わり
方を組み合わせて、どのような形であれば介護予防に取り組めるかを考えていく。高齢福祉
課、SDGs課とも一緒に行っていく。

【報告】

ケアマネット部会・デイネット部会・ヘルパーネット部会)

(資料の通り報告)

【質疑応答・意見】

会長)

ケアマネジャーが訪問診療医を見つけられない時は在宅医療サポートセンターに相談すれ
ば良いか。

在宅医療サポートセンター)

包括から同様の相談を受ける事があるが、がん末期や麻薬使用の患者さんの対応を依頼で
きる医師は限られる。できる範囲で対応する。

会長)

コロナ感染者が増加し、ヘルパーさんもコロナ療養者宅へ訪問せざるを得ない状況。これ
は多職種で取り組まなければいけない。

【報告】

グループホーム部会)

(資料の通り報告)

【質疑応答・意見】

住まい部会)

安城市は看取りをメインテーマとしている。宅建協会においては「人が亡くなった場所
における告知義務」が見直され国から新しい指針が示された。このことは我々からすると、国
も看取りに対して真剣に取り組んでいるということが分かる。在宅での看取りの下支えとな
っていると思うので賃貸住宅の看取りを進めるきっかけになると思った。

会長)

貴重な情報をありがとうございます。

(4) 意見共有、その他
会長)

今年度が最後の方感想をお願いします。

デイネット部会)

色々な部会の意見を聞くことができた。全体でここまで考えていることを知らなかった。色々な患者さんのことでサルビー見守りネットを活用できるようになったが、事業者間で情報共有をしたい時(薬剤情報、褥瘡の写真など)に、気軽にできるようになると良い。

会長)

個人間のメールで連絡可能。また、患者さんの同意を得て支援チームを作れば共有できる(支援チームを作る場合は担当医のチェックが必要)。ケアマネジャーが中心となり同意書を作成して支援チームを立ち上げることが多い。

訪問看護ネットワーク部会)

今年度で終了。4年参加した。メンバーが2人とも替わるのでフォローをお願いしたい。

会長)

積極的に色々な意見を言っていただきありがとうございました。

保健福祉部会)

初年度にケアマネット部会で参加した。当初と比べて会議の中身が濃く、活動も活発になった。違う立場で参加することで気づきが多かった。もっとICTの活用を積極的に進めていきたい。

小規模多機能部会)

この会議で質問していただいたことで小規模多機能を知っていただくよい機会となった。

住まい部会)

6年参加した。我々に何ができるかと思っただが、素人目線で発言をしてきた。発足当初は報告が多かったがいつの間にか会議らしくなった。偶然、看取りに関する相談を受けて、この会議で得た知識をお伝えすることができて良い経験となった。

グループホーム部会)

認知症の当事者を支える家族の相談が増加している。2025年に向けて、入居に至らなくても施設の中に相談窓口がもっと必要だと思う。

ケアマネット部会)

参加した2年間、ちょうどコロナ対応の年で多職種での連携を検討することが多く、ケアマネジャーとして勉強になり有意義だった。今後はこの会議で出たことを、もっと自部会に落とし込まないと地域に広がらないと思う。また、サルビー見守りネットを多職種で共有できるようになると良い。

施設部会)

2年参加した。施設は在宅医療や支援の関係者と関わる機会がないので勉強になった。施設でもサルビー見守りネットを活用した情報共有を促したい。

地域支援部会)

2年参加した。町内の民生委員と一緒に高齢者に関わっているので、身近に感じる事例が

多く、自分の地域に活かすことができれば良いと思って参加した。高齢者の中には施設や病院に行けない人はいくらでもいる。誰にも看取られずに死後1～2週間経過してから発見されることもある。皆さんのところにつながって最期を看取られることは幸せなことだと思う。(会長)

平成26年から8年間参加した。色々な会議があるが、住民代表から意見を聞くことができるのはこの会議くらい。わたしノート、ACPマニュアル、ガイドブック、サルビー見守りネットなど、ここで作ってきた形に残るものをこれからも活用していただきたい。この会議で重要なことは、報告だけでなく意見交換ができること。交互に発信することが重要。各部会からの発信も大切である。地域ケア推進会議は他市でも実施しているが出席者にメリットが無ければいけないので、懇親会や劇団サルビー見守り隊、デンパーク駅伝など楽しいことをしながら継続させると良いと思う。これからもこの会を発展させていきたいと思う。よろしくお願いします。

連絡事項

- ・次年度の代表選出について（資料4）

事務局）

3月22日までをお願いします。

高齢福祉課長あいさつ

1年間にわたり、皆さまには大変お忙しい中、地域ケア推進会議にご出席いただきありがとうございました。まずは、昨年度に引き続き、長引く新型コロナウイルス感染症に日々ご対応いただいている医療、介護、地域の関係者の皆様には、深く感謝申し上げます。また、岡本会長には以前からの在宅医療の推進はもとより、この会議が始まった当初から大変なご苦労とご尽力をいただき、誠にありがとうございました。

今年度はACPの理解促進に関する取り組みとして、作業部会を中心とした「わたしノート」や「専門職のためのACPマニュアル」の作成、各部会の検討や研修会の実施など、様々な形でご協力をいただきました。この周知による地域の反響も大きく、市民の皆様には「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」というテーマを、考えていただくきっかけとなりました。

コロナ禍においてオンラインでの会議や研修はより便利で身近になりましたが、反面、本日のように顔を合わせて意見を述べ合うこと、顔の見える関係づくりの重要性は増しており、連携を深めるうえで大切にしたい部分です。

4月には推進会議の出席者及び事務局にも入れ替わりがあると思いますので、このメンバーで顔を合わせるのも今回が最後です。今後も、皆様には、安城市における地域包括ケアシステムの推進に向けてお力添えを賜りますよう、よろしくお願いします。

次回 令和4年4月21日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館 会議室